

## 前期課程 授業科目の内容

## ■英米文学関連科目

## 英文学特論Ⅰ(1)(2)

シェイクスピアの喜劇または悲劇を取り上げ、特定の作品群に見られるテーマと問題について研究する。これらの作品の主要場面について講義をし、先行研究を参考に個別の劇として理解を深めるとともに、作品相互の思想的関連を探る。

## 英文学演習Ⅰ(1)(2)

「小説の世紀」といわれる19世紀イギリスの主要な小説テキストの理解を深める。小説という文芸形式のジャンル研究から始めて、オースティン、プロンテ姉妹、ディケンズらのテキストを分析し、併せて同時代の書評から現代の批評理論までを考察して、小説の可能性について探究する。

## 英文学特論Ⅱ(1)(2)

アイルランド文学の巨匠のジェイムズ・ジョイスを研究する。自伝的作品*A Portrait of the Artist as a Young Man*を紹介した後、*Ulysses*を精読する。ジョイスが生み出した文学技法、アイルランドの文化的特殊性など多様なテーマについても目を向けていきたい。

## 英文学演習Ⅱ(1)(2)

イギリスのファンタジーと児童文学について研究する。さらに英米文学の研究手法や論文の書き方についても指導を行う。授業は、講義、発表、討論を適宜組み合わせ進めていくことになる。

## 英文学特論Ⅲ(1)(2)

文学研究のための批評理論について学ぶ。講義では構造主義、ポスト構造主義、精神分析批評といった文学理論をとりあげる。それぞれの理論を理解するだけでなく、そこから自らの読みの方略を見つけてもらいたい。

## 米文学特論Ⅰ(1)(2)

フレデリック・ダグラスの*Narrative of the Life of Frederick Douglass, An American Slave, Written by Himself*を精読する。19世紀に書かれた本作品を読むことを通じて、奴隷制度がまだ合法的に存在していた時代のアメリカ社会の状況について理解を深めていく。

## 米文学演習Ⅰ(1)(2)

ルネサンス期、大戦間、そして現代の作家たちのアメリカ小説を中心に考察する。その他の時代の作家たちも広く視野におさめつつ、マイノリティーも含めた様々なテーマに添いながら、諸作品を幾つかの評論を交えて詳細に分析していく。

## ■英語学関連科目

## 英語学特論Ⅰ(1)(2)

比較統語論研究・パラメータ研究の成果を専門論文を通じて学ぶ。文献を通じて先行研究をその背景も含めてきちんと理解することと、それぞれの研究の利点と問題点を独自の視点から考えることを目的とする。

## 英語学演習Ⅰ(1)(2)

比較統語論研究における具体的なテーマを取り上げ、関連する文献を読み、問題点を検討することを通じて、普遍文法と個別文法の関係、およびパラメータのあり方について考える。

## 英語学特論Ⅱ(1)(2)

まず、英語形態論の研究に焦点を当てる。先行研究が明らかにしてきた形態論的規則及び原理を理解するとともに、形態論的分析の方法論を身につける。次に、形態論的規則性と統語論的規則性を比較しながら、形態部門と統語部門の相互関係を考察する。

## 後期課程 授業科目の内容

## ■英文学研究

## 英文学特殊講義(1)

エリザベス朝の戯曲テキストの書誌学的、本文批評的側面の理解を深め、共通のテーマを持つ複数の作品について分析し、当時の文化・思潮の文脈の中での意味合いと位置づけを考察する。

## 英文学特殊講義(2)

アイルランドの代表的な劇作家、イェイツとベケットの二人を取り上げ、最も現代的で根源的な問題—人間とは、世界とは、生とは、死とは—にふれ、またその流れの中で、最も今日的な伝統をも理解する。

## 英文学特殊講義(5)

現代小説論を念頭に、近代アメリカの文学作品を、光と闇の両面からさらに考察する。古典主義の制約が極めて少なかった19世紀前葉のアメリカの、自我と人間の情念の解放がほとんど野放図と言えるほどに展開された諸作品の精髓を幾つかの評論を交えて研究し、現代の視点からも考察する。

## 英文学演習

博士課程前期課程までの研究テーマ・作家研究を基盤にして、その深化をはかることが第一であるが、それと同時に前期課程修了までに十分に消化できなかった時代背景・社会事情等についても研究する。これに関連して同時代作家の検討も必要になり、その時代の中での研究テーマの位置づけを明確にさせる。一方、現代批評理論の検討をとおして、できるだけ独創的な研究を進められるよう指導する。

## 英語学演習Ⅱ(1)(2)

英語形態論及びその関連分野に関する重要な研究書を読み進めることによって、文献を読む力を養うと共に、自分で興味あるトピックを選べるようにする。次に、標準的な研究プロセスに従って研究論文を書く。即ち、選択されたトピックに関して、広範な英語の事実観察に基づいて従来の分析の問題点を指摘し、その代案を提案する。

## ■通訳関連科目

## 通訳特論Ⅰ(1)・通訳特論Ⅱ(2)

多分野にわたる通訳業務に対応できる力を身につけるために、政治、経済、文化、社会、司法、医療など、各分野の専門家によるオムニバス形式での講義を受け、通訳者にとって必要な基本的知識を習得する。

## 通訳特論Ⅱ(2)・通訳特論Ⅰ(1)

会議通訳から司法、医療の分野を中心とするコミュニティ通訳にいたるまでの様々な分野の通訳について、その歴史や、社会的背景、現状と課題などについて学ぶ。英語の原書を中心に、内外の文献を読み、内容についてレジュメを作成し、発表する。

## 通訳演習Ⅰ(1)(2)

逐次通訳の理論と技術を学ぶ。実際のスピーチや対談を教材にし、逐次通訳のトレーニングをする。リテンション、メモ取りなどのスキルを身につけ、プロとして仕事ができるレベルを目指す。

## 通訳演習Ⅱ(1)(2)

同時通訳の理論と技術を習得する。実際のスピーチを教材にし、同時通訳のトレーニングをする。同時通訳ブースの効率的な使い方も学び、プロとして仕事をするためのスキルを身につける。

## 通訳演習Ⅲ(1)(2)

逐次通訳の理論と技術を学ぶ。実際のスピーチやニュースを教材にし、逐次通訳のトレーニングをする。メモ取りおよびサイト・トランスレーションのスキルを身につけ、プロとして仕事ができるレベルを目指す。

## 通訳演習Ⅳ(1)(2)

同時通訳の理論と技術を習得する。実際のスピーチを教材にし、同時通訳のトレーニングをする。聴衆を意識した話し方の工夫を含め、プロとして仕事をするためのスキルを身につける。

## ■英語教育関連科目

## 英語教育特論Ⅰ(1)(2)

日本における英語教育がどうあるべきかを主体的に考えられるように、中学校および高等学校における英語科教育に関する基本的な問題を様々な角度から吟味し、望ましい英語教育・英語学習の在り方を考える。

## 英語教育特論Ⅱ(1)(2)

講義および文献講読により、実際の英語教育に生かせるような最新の第2言語教育理論と研究成果について学ぶ。また、第2言語教育分野における研究者としての基本技術(文献の収集法や読み方、論文の書き方)を身につける。

## 英語教育演習Ⅱ(1)(2)

日本の英語教育について、教授法や評価法、カリキュラムデザインや教材などの様々な角度から批判的な検討を加える。各受講生は関心のあるテーマをさらに追求し、研究を計画・遂行し、論文としてまとめる。

## ■言語学研究

## 言語学特殊講義(1)

生成文法における最新の統語論研究を視野に入れて、経験的および概念的視点から統語理論のあるべき姿を探る。生成文法の発展を背景に、ミニマリスト・プログラムがめざすものと現時点での成果と問題点について考える。また、比較統語論研究の立場から言語理論にどのような貢献ができるかについても考える。

## 言語学特殊講義(2)

ミニマリスト・プログラムに沿った形態論である、「分散形態論」(Distributed Morphology)の理解を深める。同理論の進展を概観し、論点を整理しながら、1節点仮説、後期挿入、異形態競合等の基本システムを把握する。次に、同理論に基づき、総合複合語、派生名詞表現、形容詞的受動態表現を含む各種の構文を分析することによって、形態・統語のインターフェイスの成り立ちを洞察する。分析に当たっては、大規模コーパスを活用したデータ収集法を学ぶ。

## 言語学特殊講義(3)

社会言語学的観点から、通訳翻訳について研究する。医療、司法、ビジネスなどの場における通訳を介した会話のディスコース分析を行い、通訳者の役割、分野別の行動規範などについて考察する。

## 言語学演習

理論的基盤に基づき、言語データを処理し、自律的に研究する能力を養う。先行研究を踏まえた上で、独自の視点から人間言語の本質に対する理解を深め、ひいては言語学分野の発展に貢献できる研究を行うことをめざす。

## 英文学専攻 研究指導内容及び指定受験科目一覧

指導教員

楚輪 松人

SOWA Matsuo

指定受験科目

英米文学

## 研究指導内容 英文学(詩・小説)

- I. イギリス小説研究。オースティン、ブロンテ姉妹、ディケンズ等々、ヴィクトリア朝時代の主要作家を中心にイギリス小説の「偉大な伝統」を形成する作家たちについて考察する。
- II. イギリス児童文学研究。ヴィクトリア朝のディケンズから現代のT・ヒューズに至るまでのイギリス児童文学の系譜―ラスキン、マクドナルド、C・ロセッティ、E・リア、キャロル、フォード、ワイルド、ラング、グレアム、バリ、A・A・ミルン等々のテキストを分析し、イギリスにおける「フェアリー・テイルズ」の可能性について考察する。

- 研究経歴／広島大学大学院文学研究科英文学専攻博士課程満期退学。ロンドン大学留学。オックスフォード大学留学。
- 所属学会／日本英文学会、ディケンズフェローシップ、日本オースティン協会、その他。
- 研究業績／「『嵐が丘』の天上性と地上性」(論文)1987。「伝記研究の意味と方法:C.ブロンテ伝の場合」(論文)1996。「模倣、剽窃、それとも創造?:ウォー、ワイルド、そしてアクロイドの場合」(論文)1996。「最新詩集 *The Spirit Level* を読む」(論文)1997。「これからの大学英文科:海外編、オックスフォード大学の場合」(論文)1998。「英文学の地平 テキスト・人間・文化」(共著)音羽書房鶴見書店2009。「Dickens and 'Mariolatry': Dickens's Cult of the Virgin Mary」(論文)2014。*Evil and Its Variations in the Works of Elizabeth Gaskell: Sesquicentennial Essays* (共著)大阪教育図書2015。「ディケンズとギッシング 底流をなすものと似て非なるもの」(共著)大阪教育図書2018。その他。

指導教員

田村 章

TAMURA Akira

指定受験科目

英米文学

## 研究指導内容 英文学(小説・批評)

ジェイムズ・ジョイスの作品研究を中心に、イギリス小説、及び現代文学批評の動向について深く考察する。

- 研究経歴／同志社大学大学院文学研究科英文学専攻博士後期課程満期退学。ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン客員研究員。
- 所属学会／日本英文学会、日本ジェイムズ・ジョイス協会、同志社大学英文学会。
- 研究業績／「フィクションの諸相」(共著)英宝社1999。「表象と生のはざまで―葛藤する米英文学」(共著)南雲堂2004。「『ユリシリーズ』第7挿話に秘められたアメリカとモーセの物語」(論文)2005。「The Eighth Episode of *Ulysses* and *The Cheese and the Worms* by Carlo Ginzburg」(論文)2008。「虚偽と捏造のテキスト―『ユリシリーズ』第16挿話を読む」(論文)2016。「ジョイスの迷宮―『若き日の芸術家の肖像』に嵌る方法」(共著)言叢社2016。「ジョイスの拡がり」(単著)春風社2019。「百年目の『ユリシリーズ』」(共著)松籟社2022。

指導教員

高野 祐二

TAKANO Yuji

指定受験科目

英語学

## 研究指導内容 言語学(統語論)

生成文法の統語理論を研究する。経験的及び理論的考察に基づいて、現在の普遍文法や個別文法の理論の問題点を考え、その解決方法を検討する。

- 研究経歴／カリフォルニア大学アーバイン校大学院言語学科博士課程修了。言語学Ph.D。慶應義塾大学経済学部助教授。マサチューセッツ工科大学客員研究員。
- 所属学会／日本英語学会、日本言語学会、Linguistic Society of America。
- 研究業績／“Object Shift and Scrambling,” *NLLT*, 1998。“Symmetry in Syntax: Merge and Demerge,” (共著)*JEAL*, 1998。“Illicit Remnant Movement: An Argument for Feature-Driven Movement,” *LI*, 2000。“Surprising Constituents,” *JEAL*, 2002。“Nominative Objects in Japanese Complex Predicate Constructions: A Prolepsis Analysis,” *NLLT*, 2003。“How Antisymmetric Is Syntax?,” *LI*, 2003。“Coordination of Verbs and Two Types of Verbal Inflection,” *LI*, 2004。“Ditransitive Constructions,” *The Oxford Handbook of Japanese Linguistics*, 2008(Oxford University Press)。“Scrambling and Control,” *LI*, 2010。“Double Complement Unaccusatives in Japanese: Puzzles and Implications,” *JEAL*, 2011。“Notes on Movement of Antecedents,” *Deep Insights, Broad Perspectives: Essays in Honor of Mamoru Saito*, 2013(Kaitakusha)。“A Comparative Approach to Japanese Postposing,” *Japanese Syntax in Comparative Perspective*, 2014(Oxford University Press)。“Minimality for Merge,” *Remnant Movement*, 2015 (De Gruyter Mouton)。“Exploring Merge: A New Form of Sideward Movement,” *TLR*, 2020。その他。

指導教員

森田 順也

MORITA Junya

指定受験科目

英語学

## 研究指導内容 言語学(形態論)

英語の形態論の研究に焦点を当てる。まず、先行研究が明らかにしてきた形態論の規則及び原理を理解すると共に、形態論的分析の方法論を身につける。次に、そのような知識・方法論を基盤にして、構造的、意味的、音韻的側面から語のしくみを解明する。

- 研究経歴／東京学芸大学教育学研究科修士課程修了。教育学修士。ハーバード大学客員研究員。
- 所属学会／日本英語学会、英語コーパス学会。
- 研究業績／“Lexicalization by way of context-dependent nonce-word formation,” *English studies* 76, 1995。“An analysis of gerundives in the framework of ‘Distributed Morphology,’” *JELS* 16, 1999。“Mixture of morphological and syntactic elements in English: A dynamic view,” *Empirical and theoretical investigations into language*, 2003(kaitakusha)。“Syntax-morphology interaction and morphological constraints,” *JELS* 27, 2010。“Context-dependent lexical innovation in English and Japanese,” *Estudos Linguísticos/Linguistic Studies* 8, 2013。“A syntactic-morphological analysis of nominal compounds,” *Florida Linguistics Papers* 3, 2016。“An analysis of deadjectival nominalization: A DM-theoretic view,” *Proceedings of the 2018 WECOL*, 2019。“A corpus-based study of derivational morphology and its theoretical implications,” *Proceedings of the Fourth International Conference on Computational Linguistics in Bulgaria*, 2020。“Contextually-motivated word formation: Complex words that rise in the comparison and contrast of separate entities or processes,” *Grammar and Text*, 2021。

## 英文学専攻 研究指導内容及び指定受験科目一覧

指導教員

種村 俊介

TANEMURA Shunsuke

指定受験科目

英語教育

## 研究指導内容 英語教育学

英語教育に関する研究を行う。特に指導法、リーディング、情意要因に焦点を当てる。

■研究経歴/名古屋大学大学院国際開発研究科国際コミュニケーション専攻博士後期課程修了。博士(学術)。

■所属学会/全国英語教育学会、中部地区英語教育学会、英語授業研究学会、大学英语教育学会、日本読書学会。

■研究業績/『応用言語学と外国語教育研究—未来への展望』(共著)金星堂、2021。“Reading Attitude and L2 Extensive Reading.”(単著) *JACET Journal* 64, 2020。「多読におけるフロー経験」(単著)『英語授業研究学会紀要』第28号, 2019。「英語の多読指導におけるホームランブッカー学習者はホームランブックと出会え、出会いにより読書行動は促進されるか—」(単著)『読書科学』第61巻1号(通巻 第239号), 2019。“Does Reading-Aloud Training Facilitate the Improvement of English Stress-Timed Rhythm?: A Comparison Between Repeating and Parallel Reading.”(共著) *Annual Review of English Language Education in Japan* 29, 2018。「日本人英語学習者の英語の読みに対する態度—高専生を対象にした調査から—」『全国高等専門学校英語教育学会研究論集』第31号, 2012。

指導教員

水野 真木子

MIZUNO Makiko

指定受験科目

通訳

## 研究指導内容 通訳学

会議通訳から司法通訳、医療通訳などのコミュニティ通訳にいたるまでの、通訳理論と実践を学ぶ。また、逐次通訳と同時通訳のスキルを身につけ、実務家としての土台を築く。

■研究経歴/立命館大学大学院国際関係研究科修士課程修了。国際関係学修士。

■所属学会/日本通訳翻訳学会(評議員)、法と言語学会(会長)、日本コミュニケーション学会、日本国際文化学会。

■研究業績/『司法通訳』(共著)松柏社、2004。『コミュニティー通訳入門』(単著)大阪教育図書、2008。『コミュニティ通訳』(共著)みすず書房、2015。『法廷通訳人の倫理』(共著)松柏社、2015。「判決文の通訳における等価性保持の可能性と限界」(論文/単著)『スピーチ・コミュニケーション教育』Vol. 19, 2006。“Community Interpreting in Japan: Present State and Challenges.”(単著) *Translation and Translation Studies in the Japanese Context*. (Continuum), 2012。“Linguistic Study of Court Interpreting in Lay Judge Trials in Japan.”(単著) *International Perspectives on Translation, Education and Innovation in Japanese and Korean Societies*. (Springer), 2018。“Judgments on Court Interpreting in Japan: Ideologies and Practice.”(共著) *International Journal for Semiotics of Law*, Vol. 32, No. 4 (Springer), 2019.その他。

## 担当教員及び担当授業科目

楚輪 松人 教授

SOWA Matsuo

[D]英文学特殊講義(1)

[D]英文学演習

[M]英文学特論I(1)(2)

[M]英文学演習I(1)(2)

高野 祐二 教授 Ph.D.

TAKANO Yuji

[D]言語学特殊講義(1)

[D]言語学演習

[M]英語学特論I(1)(2)

[M]英語学演習I(1)(2)

種村 俊介 教授 博士(学術)

TANEMURA Shunsuke

[M]英語教育特論I(1)(2)

[M]英語教育演習I(1)(2)

水野 真木子 教授

MIZUNO Makiko

[D]言語学特殊講義(3)

[M]通訳特論I(1)(2)

[M]通訳演習I(1)(2)

[M]通訳演習II(1)(2)

田村 章 教授

TAMURA Akira

[D]英文学特殊講義(2)

[D]英文学演習

[M]英文学特論II(1)(2)

[M]英文学演習II(1)(2)

森田 順也 教授

MORITA Junya

[D]言語学特殊講義(2)

[D]言語学演習

[M]英語学特論II(1)(2)

[M]英語学演習II(1)(2)

朴 珣英 教授(兼任) 博士(言語文化学)

PARK Soonyoung

[M]米文学特論I(1)(2)

[M]米文学演習I(1)(2)

加瀬 佳代子 教授(兼任) 博士(言語文化学)

KASE Kayoko

[M]英文学特論III(1)(2)

アシュエロバ ウミダホン 准教授(兼任)

ASHUROVA Umidahon

[M]通訳演習III(1)(2)

[D]後期課程授業科目 [M]前期課程授業科目